



毎日の「朝の会」（日常生活の指導）に隠れたキャリア発達の基礎

「キャリア教育」と聞くと、職場体験や進路指導を思い浮かべるかもしれませんが。しかし、その根っこのは毎日の生活の中にあります。本校で毎日行われている「朝の会」。実はこの時間には、将来、社会の中で自分らしく生きていくための「選ぶ力」「伝える力」「関わる力」が凝縮されています。

今回は、中学部1年6・7組の朝の会の各活動を「キャリア発達」の視点からひも解いてみます。

朝の会次第（内容）

※出席確認以外は日替わりで行う

- ①朝のあいさつ
- ②朝の歌（曲に合わせて体操、友達が指定した部位を動かしたりタッピングしたりする）
- ③出席確認・体調確認（呼ばれる友達を見る、呼名→返事、「元気ですか」の問いかけに応える）
- ④今日の天気（TVに映し出される窓から見える様子を見て、三択問題で答える。みんなで友達が提案したジェスチャーをみんなで模倣して、今日の天気を表現する）
- ⑤今日の予定（学習内容の確認、取り組む授業を二択問題で答える）
- ⑥給食（献立の確認、食べたいもの・今日の主食を二択問題で答える）
- ⑦話題（週末にあった楽しかったこと、学校で頑張ったこと等を教師が代弁して発表する）
- ⑧今月の歌（曲は二択で選ぶ 曲を聞きながら自分で選んだ楽器を鳴らす）
- ⑨終わりのあいさつ

1. 「自分を知る・伝える」：出席確認と体調確認



呼名に対して、声を出したり、教師にタッチしたり、視線を合わせたりする。これは単なる返事ではありません。

○キャリア発達の視点：「自分」という存在を認め、他者からの問いかけに対して「私はここにあります」「今はこんな調子です」と自己の存在や状態を表明する、コミュニケーションの原点です。



日直は、棒スイッチに触れて、TV画面に映った次第を進めます。

名前を呼ばれて、元気に「はい！」と返事をします。



「元気ですか」ときかれ、力強いガッツポーズで応えます。

2. 「自分で選ぶ・決める」：選択の積み重ね



「今日の天気」「給食のメニュー」「今月の歌」の選曲等を口頭や絵カード、視線入力やタッチパネルで択一問題に取り組みます。左右の手を握りながら教師が選択肢を伝え、当てはまる方を握って答える生徒もいます。

○キャリア発達の視点：誰かに決めてもらうのではなく、「私はこれだと思う」「私はこれがいい」と意思決定する経験です。この「選ぶ」経験の積み重ねが、将来の生活の質（QOL）を高め、主体的に生きる力へとつながります。



「食べたいメニューはどっち？」ときかれ、画面をタッチして答えます

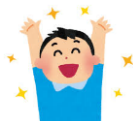


「今日食べるのはどれ？」ときかれ、画面をタッチしています。

3. 「他者とつながる」：身体の触れ合いと共有

友達が提案した部位をタッピングする「朝の歌」や、クラスメイトの頑張りを共有する「話題」の時間。

○キャリア発達の視点：相手の存在を意識し、心地よい刺激を共有することは、良好な人間関係を築く基礎となります。また、教師が代弁する「頑張ったこと」を聞くことで、自分の良さに気づき、自己肯定感を育みます。



新しいことに挑戦し、できたことを担任が発表しています。



◎表現方法は人それぞれ、正解も人それぞれ

「言葉」による表現だけがコミュニケーションではありません。発声、視線、表情、身体の動き等、それぞれ得意な方法で今の自分を表現しています。

毎朝、生徒たちが呼名に元気に応える様子や「どっちかな？」と画面を真剣に見つめるまなざし、楽器を笑顔で鳴らす様子に私たち教師はエネルギーをいただいています。小さな「できた」「選べた」が輝く未来の大きな一歩です。



